

第7回義肢適合支援のあり方研究会のご案内

I. 開催趣意

下腿切断者に対する義肢装着適合や歩行練習における技術介入には根拠に基づいた高い専門性と実践力が必要とされています。本研究会は、切断者の方にモデルとなってもらい、熱可塑性プラスチックを使用し実際にソケットを作成するところから義足の適合チェック、アライメント調整、歩行訓練に至る一連の技術講習を行ない、近年の多様化した切断者ニーズに応えるべきそのリハ的介入や支援技術を専門職者へ継承するとともに質的保証を目指す事を趣意としています。

II. 日程

日時:平成27年2月8日(日) 10:00~17:00(受付 9:30~)

場所:東京医科歯科大学医学部附属病院 リハビリテーション部

III. 講師

原 和彦 (埼玉県立大学 ;理学療法士)

石倉 祐二 (元石倉義肢製作所;義肢装具士) 他

IV. 内容

TSB ソケット適合理論と実際に関する講義、TSB ソケットの採型実技(修正、補強)、ソケット適合評価・義肢アライメント評価、初期歩行練習(評価、治療)

※講習会当日は白衣着用のこと(ただし、上衣だけでよい)

V. 対象

義肢装具士、理学療法士、その他義肢支援関係職種

VI. 定員

実技希望者12名前後(先着順)、実技見学者20名(先着順)

VII. 参加費

実技希望者 10,000円(プラスチックソケット材料費、テキスト代、昼食代込み)

実技希望者外 4,000円(テキスト代、昼食代込み)

VIII. 共催

専門リハビリテーション研究会補装具研究部会、義肢適合支援のあり方研究会

IX. 問い合わせ・申し込み先

〒151-8528 東京都渋谷区代々木2丁目1番地3号

JR 東京総合病院リハビリテーション科 担当:吉葉 清野 平岡 渡辺

TEL/FAX: 03-3320-2200/03-3370-8501 E-mail: 06share10@jreast.co.jp

研究会プログラム

平成27年 2月8日(日)

受付

9:30~10:00

午前の部 (10:00~13:10)

開会の挨拶 世話人 原 和彦 10:00~10:05

講 義

1. 下腿切断の身体計測・断端評価・義足評価 10:05~10:15

講師 原 和彦 (埼玉県立大学 ; 理学療法士)

2. 製作過程 10:15~10:25

3. ケーススタディー 10:25~10:45

4. 断端評価・TSB 採型実習 11:00~12:30

講師 原 和彦 (埼玉県立大学 ; 理学療法士)

石倉 祐二 (元石倉義肢製作所 ; 義肢装具士) 他

お昼休み (12:30~13:30)

午後の部 (13:30~17:00)

6. TSB 採型実習(続き) [組み立て~歩行・適合チェック] 13:30~17:00

7. 閉会の挨拶